

神戸 YWCA／東日本大震災被災者支援プログラム

## いっしょにいくべ通信④ 2011年12月

神戸 YWCA（担当：西本） 神戸市中央区二宮町1-12-10  
TEL 078-231-6201



絵はがきの福島の風景

空も水もきれいな

みどりのまちをつくりましょう

教育と文化を尊び

希望に輝くまちをつくりましょう

親切で愛情あふれるまちをつくりましょう  
きまりを守り、力をあわせて

楽しく働くまちをつくりましょう

こどもからおとしよりまで

安全で健康なまちをつくりましょう

今年の4月、私は原発事故後はじめて福島市を訪問しました。その時に、福島YWCAの会長・渡辺園子さんが、福島市の風景を写した一枚の美しい絵はがきをくださいました。その裏に書かれてあったのが、この文章です。それは、1973年（昭和48年）4月1日に福島市で定められた「福島市民憲章」でした。

その時、福島市はまだ寒さが残り、しかし山

や木は春に向かう喜びに満ちて、まるでその絵はがきの景色そのものでした。40年前にこのようなビジョンを掲げた町で、どうしてこんなことが起きましたのか。放射能汚染のなんたるかもわかっていない私でしたが、その邪悪さ、理不尽さに泣きたくなったことを覚えています。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

11月末、福島からの週末避難の可能性を探るため、隣県・山形の米沢市を訪問しました。福島からの避難者は、約4,000人、その多くは自主避難の母子とのことです。様々な事情を抱えつつ福島を離れざるを得なかったお母様方と話しながら、8か月たった今もまだ、「復興」のとば口にも立っていないのだと改めて感じました。

福島の方々との長い関わりになりそうです。改めて、皆様のお祈りとご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。（西本）

■東日本大震災被災者支援募金  
温かいご支援に心から感謝します！

募金総額 111万5,105円(11月末)  
これからもご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします！

★オレゴンからも喜援の手★

ローグバレー平和合唱団および南オレゴン日本人会の皆様からも、特に福島の放射能被曝下にある母子の避難プログラムのために応援が届いています。

ローグバレー平和合唱団は2006年、神戸YWCAも協力して、京都、神戸、広島の各地で「平和と友情の旅」を行いました。呼びかけ人である同州在住の田村秀子さんは、今回の震災の報を聞いてすぐに合唱団のメンバーに声をかけてくださいり、既に2回にわたって献金をお送りいただいています。

これまで神戸が培ってきた信頼が、東北とオレゴンをつなぎでいます。

## ■報告： 福島から見える私たちの暮らし ～煙山 亨さんを囲んでの福島報告～

11月4日(金)18:00から神戸YWCAチャペルに煙山享さん(こどもたちを放射能から守る福島ネットワーク/避難・疎開・保養セクション世話人、NPO法人IIY0代表理事、こどもの権利条約フォーラム☆ふくしま副代表)をお招きし、福島の現況について話を聞きました。

煙山さんは、福島市内で発達障害の方々を応援する NPO 法人で活動しておられましたが、原発事故後からは「こどもたちを放射能から守る福島ネットワーク」の避難部門の担当者としても活動。多くのご家族の県外避難をコーディネートしてきました。しかし 8 月、放射能の影響でご自身の NPO 活動の継続を断念、現在は淡路島に避難しておられます。

当日は、福島を応援したいと考える20名以上の方々が集まり、様々な質問にも答えていただきました。「大学生を福島へ送るとしたら2泊3日でも長いと思う」「野菜を送る支援は、忘れていません」という県外からの発信になる。たとえ月一でも意味がある」「大切なのは、支援する側も疲れてしまわないこと」。またブチ疎開のアイデアも出され、福島の視点から学ぶことができました。

こどもネットワークとは、日本YWCA被災者支援活動の「セカンドハウス」でもご協力いただいている。淡路島の煙山さんとも連絡をとりあい、さらに福島の方々の必要に応える活動を進めています。

### ■ ひと冬のセカンドハウス開始 神戸にも福島のご家族が来販します！

この冬も、神戸 YWCA は福島の方々のために「セカンドハウス～県外のあなたのもう一つの家」をご提供しています（期間は 12 月 18 日～1 月 15 日まで）。今回は神戸を含めて 9 地域 YWCA から 13 家屋（一軒家、アパートなど）が準備されました。そして神戸 YWCA が提供した住宅は、ほぼ利用者が決定しようとしています！

年末年始の忙ただしい時期ではあります、福島のご家族を神戸Y一同で温かくお迎えしたいと思います。

★お願い★

いま、冬物の寝具が3セット足りません！お貸し出しいただけます方は、担当：西本までご連絡ください。

★現在、神戸YWCAを含めて、この夏に兵庫県下で福島のこどもたちの避難プログラムを行った団体が集まり、連絡会が結成されつつあります。協力の輪を広げていきたいです。